

平成18年度予算を公表

集中・重点型予算 ～住み続けたいまちを目指して

問合せ先
財政課

『市民の視点に立つた行政サービスと夢のあるまちづくりの推進』の基本理念を堅持し、「第3次行財政改革大綱」の改革項目を前倒しの織り込みながら、引き続き行財政改革遂行型予算を基調としました。「選択と集中」によって諸施策を推進、特に3つの当面する行政課題である①地域ぐるみで安全・安心のまちづくり②学校校舎耐震化と教育の充実③子育て支援と健康づくり、を重点とした予算組みとなりました。

～さらなる行財政改革の推進

編成方針

市の平成18年度予算は、当面する行政課題に積極的に向き合った「集中・重点型予算」とし、住み続けたいまちを目指した予算を編成しました。
予算総額は、973億7千616万円で、前年度に比べ31億444万円(3.3%)の増額となりました。

予算の概要

総額 973億7,616万円

一般会計
488億8,000万円
(前年度比5.7%増)

特別会計
484億9,616万円
(前年度比1.0%増)

今年度の重点事業を紹介

1 地域ぐるみで安全・安心のまちづくり……………

1億2,169万円

学校の安全(校内)

- 防犯カメラの設置(幼稚園、小・中学校)
- 校内緊急通報システムの設置(小・中学校)
- 不審者情報メールサービスの提供(小・中学校)

学校の安全(校外)

- スクールガード事業の実施(小学校)
- ひのっ子安全パトロールの実施

地域の安全

- 生活安全協議会の設置・運営
- 自主防犯組織・地域パトロールへの支援
- 自主防災組織の拡充

防災対策～新地域防災計画の推進

- 初動体制マニュアルの作成
- 洪水ハザードマップ(危険予測地図)の周知・活用
- 普通救命講習(市民・全職員)を広く認知・推進させ、救命技能検定者の増加を図る



▲お子さんの安全を守ります

2 学校校舎耐震化(平成19年度完了)と教育の充実……………

27億619万円

日本一の学校ICT教育を目指して

- 全小学校でICTを活用した教育を開始
- 平成19年度中学校全校実施に向けた基盤整備

施設の耐震化と建て替えを推進

- 小・中学校校舎の耐震化を平成19年度完了
- 平山小の建て替え
- 一中の建て替えに向けた整備



▲小学校で始まるICT(情報通信技術)を活用した教育

特色ある学校づくりの推進

- 特別指定研究奨励制度の創設

不登校対策の充実

- 小・中学校にスクールカウンセラーを配置
- 適応指導教室(わかば教室)で学校復帰に向けた指導を実施

教育用機器・備品・消耗品などの整備・充実

3 子育て支援と健康づくり……………

46億6,825万円

子育て支援サービスの充実

- 児童手当を小学6年生まで拡大
- 日野駅前地区に新たに民間保育所を開設
- 休日保育の実施、保育時間を午後8時まで延長(9園)
- 就学前巡回相談、保育カウンセラー配置



▲子ども家庭支援センターのサービスを充実します

引きこもりなどへの取り組み

- ニート・フリーターへのカウンセリング及び就業支援を実施

子ども家庭支援センターの充実

- 先駆型子ども家庭支援センターの開設
- 子ども家庭在宅サービスの充実(一時保育、トワイライトステイ、ショートステイ)

学童クラブの充実～全員入所の継続

- 旭が丘東学童クラブの開設

日野人四大運動事業の推進

地域の特色を生かした健康なまちづくり

- 健康推進員の地域活動を支援
- かかりつけ医の推進

1万人に1人(17人)の保健師配置

女性なんでも健康相談の事業拡大

- こころのカウンセリングにも対応

各種健診等の充実

- 前立腺がん検診の充実
- ストレスコントロール教室の拡大

小児科診療の充実

- 市立病院での二次診療体制の充実
- 平日準夜小児診療を週2日から週3日へ